

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	母体水痘抗体、風疹抗体、およびサイトメガロウイルス抗体保有状況に関する研究
研究期間	2021年12月2日～2023年3月31日
対象患者	(1) 2004年4月1日～2021年12月1日までに、当院で妊婦検診等のために産科受診した患者さん (2) 2004年4月1日～2021年12月1日までに、当院で入院となった新生児(生後28日以下)患者さん
調査対象期間	2004年4月1日～2022年3月31日
研究機関の名称	島根県立中央病院
研究責任者	小児科 金井 理恵
意義・目的	母体の水痘、風疹、サイトメガロウイルス感染症は、胎児、新生児にとって、重大な影響を及ぼす感染症です。麻しん・風しんワクチンは1歳時、就学前の2回が定期接種となり、水痘ワクチンは1歳児に定期化されることとなっています。これにより、一般的な水痘、風疹の罹患者が減少することが想定されますが、先天性風疹症候群は、絶滅を目指すものの、ワクチン未接種者の動向に応じて、一定の発症者が生じています。また、先天性サイトメガロウイルス(CMV)感染症は、2018年から尿中CMV-核酸同定検査が保険適応となり、診断者数が増加している可能性があります。 そこで本研究では、母体水痘抗体保有状況、風疹抗体保有状況、出生児のサイトメガロウイルス抗体保有状況を把握し、母体水痘、風疹の発症に起因する重篤な合併症、先天性水痘症候群、周産期(新生児水痘)、先天性風疹症候群、先天性サイトメガロウイルス感染症のリスク因子を検討することを目的とします。
研究の方法 (試料・情報の利用方法・他施設への提供方法を含む)	電子カルテより、「利用する試料・情報の項目」の情報を収集します。年次別、年代別、抗体保有状況、推移を比較し、先天感染症の予防に関する因子を検討します。 研究結果を公表する際には、個人を特定できる情報は削除します。
利用する試料・情報の項目	(1)の対象患者さんの情報 患者背景識別コード、母体生年月日(or年齢)、人種、母体合併症、妊娠・分娩歴、水痘抗体の有無、風疹抗体の有無 等

	<p>出生児の状況 誕生日、性別、児の在胎週数、体重、身長、頭囲、先天感染の有無（症候）、聴覚スクリーニングの有無 等</p> <p>（2）の対象患者さんの情報</p> <p>患者背景 識別コード、誕生日、性別、児の在胎週数、体重、身長、頭囲、先天感染の有無（症候）、聴覚スクリーニングの有無 等</p> <p>母体の状況 母体生年月日 (or 出産時年齢)、人種、母体合併症、妊娠・分娩歴 等</p>
試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供 あり・ なし (ありの場合、海外の施設への提供 あり・なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文として公表予定。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院
小児科 金井 理恵
電話：0853 - 22 - 5111
